

いただいた意見等に対する富士市の対応等について

協議事項 1 退出申出路線「弥生線」への対応について

7件の意見等をいただきました。 承認する 22人 承認しない 0人

○意見等

- ① 運転士不足は全国的にも厳しい状況であること、またそのような状況で乗車率の低い路線に運転士を充てることは適当ではないと思います。代替交通の認知・案内の徹底に期待します。
- ② 新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いた後も、利用者の減少に歯止めが掛からず、さらにバス運行に係る燃料費高騰や運転士不足等を考慮すると、減便はやむを得ないと思います。
- ③ 路線バスの現状及び代替手段の検討結果から、今回の対応については妥当だと思えます。
- ④ 代替交通の確保及びその周知をお願いします。
- ⑤ 弥生線の路線バス利用者に意見を聞いたところ、時折静岡に出かけるときに利用しているので無くなると困るということでした。しかしながら、代替交通としてA I オンデマンド交通「のるーとふじ」が運行されるのであれば、時刻が決められた路線バスより利便性が増すので、良いと思います。ただ、スマートフォンが使えない方に対しても、何かしら利用する際の便宜を考えていく必要があると思えます。
- ⑥ 代替手段の1つである「のるーとふじ」の予約方法等の使い方の広報を確実にしていただきたいと思えます。
- ⑦ 平日の三日市、中村町等の弥生線沿線から富士駅へ乗車する乗客がこれまでと同じようにバスを利用できなくなる点が気になりますが、路線バスの利用者が少ない状況や「のるーとふじ」の運行等により代替手段の確保がほぼできている状況であることからやむを得ないと考えます。

●対応等

弥生線の代替手段の1つであるA I オンデマンド交通「のるーとふじ」の周知については、今後本格的に始める予定です。

具体的な周知方法としては、以下の通りです。

- ・主な運行地区である伝法地区において町内会単位で利用者説明会を開催
- ・伝法地区にチラシを世帯配付
- ・市長定例記者会見
- ・広報ふじ（2月号）への掲載
- ・市ウェブサイトへの掲載
- ・市SNSでの発信
- ・ウェブ広告への掲載

新しい交通システムであることから、これまで以上に利用方法等の周知を図ってまいります。

その他 其他のご意見について

3件の質問及び3件の意見等をいただきました。

○質問

① AI オンデマンド交通「のるーとふじ」は、富士駅まで行く方のことも考慮されていますでしょうか。

●回答

AI オンデマンド交通「のるーとふじ」については、路線バスのバス停と併設されている乗り場が19ヶ所あり、他のバスへの乗り継ぎにも使えます。また、時刻表がないことから、乗り継ぐバス路線の時刻に合わせて予約いただくことで、路線バスを乗り継ぐことに比べ、フレキシブルな利用ができると考えております。

富士駅へ行く方については、弥生線のバス停の他、富士中央図書館・富士市庁舎・中央公園等で乗り継ぎをして利用することができると考えております。

運行内容等の周知に合わせ、上記に示す便利な使い方の提案をしていきたいと思っております。

② 久しぶりの開催となった「バスの日イベント」の来場者数がわかれば、過去の開催とともに教えていただきたいと思っております。

●回答

過去の開催及び今年度の来場者数は以下の通りです。今年度は、自動運転車両のデモンストレーション走行等もあり、例年に比べ多くの来場者でした。また、市で用意しました先着250人のスタンプラリーの台紙については、開始30分でなくなるほどの盛況ぶりでした。

H27年度 約 800人、H28年度 約 800人、H29年度 約 1,200人、
H30年度 約 600人、H31年度 約 1,200人、R5年度 約 1,500人

③ 悠容クラブ連合会として、会員の減少に悩まされています。一つの原因として、会議・事業への参加の際、交通手段がなく引き受けられないこと、また地区で行事を計画してもまちづくりセンターまでの足を確保できないことが現状としてあります。高齢者の交通事故が多発する中、何か良い手段・方法があればご指導をお願いします。

●回答

令和3年に策定した「富士市地域公共交通計画」に基づき、だれもが安全かつ円滑に移動できる快適なまちの実現に向けて、公共交通ネットワークの構築に取り組んでおります。

路線バスについては、市路線の再編や集約による運行の効率化を図っておりますが、昨今のバス事業者の厳しい経営状況や運転士不足等の課題を鑑みますと、新規路線の開設は、非常に困難かと思われまます。

お住まいの地区にもよりますが、会員登録制のデマンドタクシーについては、予約制であること及びすべての路線において地区まちづくりセンターに駐車場を設置していることから、地区での会議等の際にご利用がしやすいと考えております。

また、市では福祉部門において富士市高齢者公共交通利用支援事業を実施しております。その中の公共交通プラチナ回数券については、路線バス・岳南電車・コミュニティ交通・タクシー・介護

タクシーと様々な交通モードで利用できますので、ぜひご利用ください。

○意見等

- ① AI オンデマンド交通の場合、時刻表がないので、携帯を持たない高齢の利用者やスマートフォンアプリを使えないお客様等、運行車両がどのくらいでくるかはっきりわからず、通り過ぎて行ってしまったのではと勘違いされるなど、行き違いになってしまう恐れはないでしょうか。電話で予約された方も安心して利用できるようにしていただきたいと思います。
- ② 廃止や新規の運行について、市民にどれくらい理解されているのか確認をしていただきたいです。身近では知らなかったと答える人もいます。
- ③ バスの日イベントの自動運転デモンストレーション走行について、申込方法が適切だったのか疑問です。インターネットを使える人ばかりではありません。

▶今後の参考とさせていただきます。